

つながる商店街支援事業 事業計画書

事業の名称	(例) デリバリー商店街
実施場所	新潟市〇〇区〇〇〇、△△区△△△
実施期間	令和 5 年 1 0 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 3 1 日
<b>1 事業の必要性及び目的</b>	
<p>連携する商店街は、近隣に大型スーパーや複合施設などが出店したことで、客足が遠のいている状況であり、新規顧客の獲得が必要となっている。</p> <p>対して、郊外に住み、車の運転が困難となった高齢者等は、生活用品等の買い物に出かけることが困難な状況となっている。</p> <p>このような買い物困窮者には移動販売により生活用品等が自宅のすぐ近くで購入できるような環境が必要と思われる。</p>	
<b>2 事業の具体的な内容</b>	
<p>大型の移動販売車を用いて、商店街の商品を市内各地に赴いて販売する。</p> <p>移動販売の手順は以下のとおり。</p> <p>① 移動販売車の陳列棚を、区画ごとに、連携する商店街の各店舗に貸し出す。(〇〇〇〇〇円/区画)</p> <p>② 連携先の商店街の各店舗は、午前 8 時までに借りた陳列棚の区画に、商品を自由に陳列する。(陳列棚には店舗の紹介カードを設置)</p> <p>③ 買い物困窮地等に赴き販売し、売上額は集計して各店舗にお渡しする。</p> <p>なお、営業日時は 3 日/週 (月・水・土) 午前 10 時~15 時までで、取扱商品は、生鮮食品と日用品の予定。</p>	
<b>3 実施体制 (連携支援の場合、連携する全ての団体等の役割と本制度の利用回数を記載、外部連携支援の場合、連携先商店街等団体との役割分担を記載)</b>	
<p>連携先商店街等団体は〇〇商店街 (〇〇区) と△△商店街 (△△区)。</p> <p>当社は、買い物困窮地や出張販売のニーズがある場所の情報収集に努め、その情報及び移動販売の予定表を商店街等団体に提供する。</p> <p>連携先商店街の各店舗は、提供した情報に基づいて、ニーズに応えられるように商品を出品する。</p>	
<b>4 事業の目標値 (※) と、その把握又は検証方法</b>	
<p>移動販売による売上高 〇〇〇〇〇円 (〇〇〇円/月、客単価〇〇円)</p> <p>移動販売の購入客数 〇〇〇人 (〇〇人/月)</p> <p>販売先ごとに購入された商品の種類と売上高を記録。(連携先商店街に情報提供することで、商店街の売上高をより高めることに寄与できる。)</p>	
<b>5 その他、事業の実施により期待される効果</b>	
<p>買い物困窮者の解消と、連携先商店街の顧客獲得・売上向上。</p> <p>また、移動販売先で連携先商店街を周知することで、買い物客をきっかけに、その家族や周辺住民が実際に連携先商店街に足を運ぶことも想定され、賑わい創出にもつながる。</p>	

※目標値は、以下のいずれかを基本に設定してください。

- ・「1 事業の必要性及び目的」欄は、商店街にとっての本事業の必要性及び目的を必ず記載してください。
- ・「4 事業の目標値と、その把握又は検証方法」欄は、上記 1 の事業の必要性及び目的を果たすにあたっての指標について、目標値とその把握又は検証方法を記載してください。
- ・「5 その他、事業の実施により期待される効果」欄は、本事業の実施により、商店街にどのような効果が期待されるかを必ず記載してください。